



JAPAN PATENT ATTORNEYS ASSOCIATION

知的財産

# 支援活動だより

**特集**

知的財産の力で未来を拓く  
— 日本弁理士会の知財活用表彰と  
ビジネスプランコンテストのご紹介について



## トピックス

9月までの支援活動（関東会・関西会・四国会・九州会）

知的財産

# 支援活動だより

2025年10月No.262

## 目 次

### 特 集 知的財産の力で未来を拓く — 日本弁理士会の知財活用表彰と ビジネスプランコンテストのご紹介について

4

#### 1. 9月までの支援活動

##### 関東会

「知的財産特別授業」栃木県立足利工業高等学校

関東会 知財創造教育支援委員会 高原千鶴子 6

「知的財産特別授業」学校法人八千代松陰学園

関東会 知財創造教育支援委員会 金子彩子 7

「知的財産特別授業」江戸川区子ども未来館

関東会 知財創造教育支援委員会 小屋迫利恵 8

「知的財産特別授業」中央区教育委員会教育センター

関東会 知財創造教育支援委員会 金子彩子 9

「知的財産特別授業」ひたちなか少年少女発明クラブ

関東会 茨城委員会 平川明 10

「知的財産特別授業」江戸川区子ども未来館

関東会 知財創造教育支援委員会 斎藤進 12

「発明工作授業」一般社団法人栃木県発明協会

関東会 栃木委員会 横川憲広 14

##### 東海会

東海4県・長野県農業法人協会「農業法人経営情報交流会」

東海会 地域資源IP委員会 委員長 安部誠 15

「第1回休日パテントセミナー2025in名古屋」

東海会 知的財産支援委員会 委員 下上晃一郎 17

知的財産支援キャラバン隊 弁理士 岡村祥有

INPIT 長野県知財総合支援窓口 「令和7年度長野県よろず支援拠点と INPIT 長野県知財総合支援窓口 合同研修会」			
東海会 長野県地区会 地区会長	竹内康司	18	
「第2回休日パテントセミナー2025 in 名古屋」	東海会 知的財産権制度推進委員会 委員長	菅慎太郎	19

## 関西会

「令和7年度 MOBIO 知財セミナー（第2回）」	関西会 知財普及・支援委員会	鶴川智子	20
「知的財産特別授業」大阪市立矢田小学校	関西会 知財授業担当	川瀬直樹	21
「知的財産特別授業」泉南市立東小学校	関西会 知財授業担当	富田光治	22

## 四国会

三者連携セミナー@香川	四国会設立20周年記念事業実行委員会委員	京和尚	23
三者連携セミナー@香川	四国会 会長	山内伸	24
「知的財産セミナー『著作権早わかり～今さら聞けない基礎知識（後編）』」	四国会	城田晴栄	25

## 九州会

九州経済産業局こどもデー 発明工作教室	隅田俊隆	26

## 2. 支援活動一覧表（10月分）

27

本だよりはWebでも閲覧できます。日本弁理士会ホームページ (<https://www.jpaa.or.jp/>)



## 知的財産の力で未来を拓く－日本弁理士会の 知財活用表彰とビジネスプランコンテストのご紹介

知的財産は、企業の競争力を高め、持続可能な成長を支える重要な資産です。日本弁理士会では、知的財産の活用を促進するため、さまざまな支援活動を展開しています。その中でも特に注目されるのが、「知的財産活用表彰」と「知財活用ビジネスプランコンテスト」です。本稿では、これらの取り組みについてご紹介いたします。

### 知的財産活用表彰とは

「知的財産活用表彰」は、知的財産を活用して知的資産経営を積極的に推進する企業や団体を表彰する制度です。2014年度から始まり、今年で第12回を迎えます。発明、営業秘密の保護、ブランド戦略、デザイン、標準化など、多様な知的財産の活用を通じて経営に成果を上げている中小企業や、それらを支援する金融機関、ツール開発者などが対象となります。

この表彰制度の目的は、知的財産の活用に対する社会的な認知を高め、企業の知財戦略を後押しすることです。受賞者には「知的財産活用大賞」や「知的財産活用奨励賞（ブランド部門、デザイン部門、知的財産戦略部門）」などが授与されます。

2024年度(第11回)では、香川県の**勇心酒造株式会社**が「知的財産活用大賞」を受賞しました。同社は、独自の発酵技術を活かした製品開発とブランド戦略により、地域資源を活用した知的資産経営を実現しています。また、広島県の**ナオライ株式会社**はブランド部門、東京都の**株式会社 MOYAI**はデザイン部門、鳥取県の**株式会社フジタ**は知的財産戦略部門で奨励賞を受賞しました。

さらに、知財活用を支援する立場の機関や企業に対して贈られる「知的財産活用支援大賞」および「知的財産活用支援奨励賞」も設けられています。これらは、知財教育、人材育成、政策支援などを通じて中小企業の知財活動を後押ししている取り組みに対して授与されるものです。2024年度には、東京都の**ディスプロ株式会社**が支援奨励賞（政策サポート部門）を受賞しました。動画配信や教材開発などを通じて、知財の普及啓発に貢献した点が評価されました。

推薦には弁理士の関与が必要であり、応募を希望する企業・団体は、身近な弁理士に相談することが推奨されています。表彰式は令和8年2月6日に予定されており、受賞者による講演も行われる予定です。

### 知財活用ビジネスプランコンテストとは

「知財活用ビジネスプランコンテスト」は、技術・ブランド・デザインなどの知的財産を活用した新たなビジネスプランを発掘・表彰する取り組みです。2020年度から始まり、今年で第5回を迎えます。応募者は、特許や商標の取得がなくても参加可能で、萌芽的なアイデアを広く募集しています。

審査は「独創性」「実現性」「将来性」などの観点から行われ、一次審査（書類審査）と二次審査（ピッ

チ審査) を経て、受賞者が決定されます。受賞者には以下の賞が授与されます。

- ・ グランプリ(日本弁理士会会長賞)：賞状および副賞 50万円
- ・ 準グランプリ：賞状および副賞 30万円
- ・ 特別賞：賞状および副賞 15万円
- ・ 奨励賞(日本中小企業診断士協会連合会会長賞)：賞状および副賞 15万円

さらに、特に優秀なビジネスプランには、日本弁理士会によるフォローアップ支援が提供され、事業化に向けた知財戦略の構築が支援されます。

2024 年度のグランプリには、石川県の株式会社スパインクロニクルジャパンが選ばれました。同社は、高齢者脊椎疾患に対する低侵襲治療手術デバイスの開発を進めており、医師の手書きのアイデアから特許出願に至るまでのプロセスが高く評価されました。また、準グランプリには広島県の中村ユセフ健氏による金属 3D プリンタを活用した大型船向けプロペラの研究開発が選ばれました。特別賞には、東京都の小学 4 年生正能佳明氏が開発した害虫アリ除け剤「キラ星の砂」が受賞し、話題を呼びました。

## 表彰式と今後の展望

両制度の表彰式は、令和 7 年 2 月 14 日に東京都港区の赤坂インターシティコンファレンスにて開催されました。式典では、受賞者への表彰状と記念楯の授与に加え、受賞者による講演が行われました。

勇心酒造株式会社の徳山孝仁社長は、「知的財産戦略とその実践」について講演し、地域資源を活かした知財活用の重要性を語りました。また、ディスプロ株式会社の柔原良弘社長は、「中小企業政策に沿った知財・経営戦略の支援とは」と題して、支援機関としての取り組みを紹介しました。さらに、株式会社スパインクロニクルジャパンの米澤則隆社長は、医療機器開発における知財の役割について実例を交えて講演を行いました。

日本弁理士会では、これらの表彰制度を通じて、知的財産の社会的価値を高めるとともに、企業のイノベーションを支援しています。知的財産は、単なる権利の取得にとどまらず、経営資源として活用することで、企業の成長と地域の活性化に貢献します。

今後も、知的財産を活用した経営の成功事例を広く紹介し、より多くの企業が知財戦略を経営に取り入れることを期待しています。知的財産支援活動に携わる皆様におかれましては、ぜひこれらの制度をご活用いただき、地域の知財力向上にご協力いただければ幸いです。



写真1　日本弁理士会会長鈴木一永挨拶



写真2　令和6年受賞企業集合写真

# 1

## 9月までの支援活動

### 関東会

#### 「知的財産特別授業」栃木県立足利工業高等学校

1. 日 時：令和7年7月10日（木）13:25～15:05
2. 場 所：栃木県立足利工業高等学校
3. 対 象：産業デザイン科 高校2年生 38名
4. 講 師：知財創造教育支援委員会 委員 高原千鶴子  
栃木委員会 委員 山田由美子
5. 内 容

授業は、前半部（高校生に必要な知的財産権の知識）と後半部（知財調査の実習）に分けて行いました。

前半部は、対象が産業デザイン科の生徒さんでしたので、商品開発や意匠登録などのデザインにかかる、商標権、意匠権を中心に、特許権、著作権（生成AIを含む）について、なぜ知的財産権の登録が必要か、登録条件、登録の成功例・失敗例、侵害に巻き込まれないための対策、デザインパテントコンテスト等について説明を致しました。

後半部はJ-PlatPatを利用して実習を行いました。実習の前に、まず、知財調査が何故必要かについて、また、著作権と意匠権などの産業財産権との違いについて、説明しました。実習は、一人1つずつ端末を使って行いました。課題は、①番号での意匠、商標、特許の検索②意匠の物品名での検索③商標の称呼での検索④商標の図形での検索です。生徒さんは、すぐに要領を掴み、課題を早々に終わらせて、思いついた商標などを検索している生徒さんもいました。



関東会 知財創造教育支援委員会 高原千鶴子

## 「知的財産特別授業」学校法人八千代松陰学園

1. 日 時：令和7年7月12日（土）10:50～12:10
2. 場 所：学校法人八千代松陰学園
3. 対 象：中学1年生～高校3年生 16名
4. 講 師：千葉委員会 田久保泰夫、知財創造教育支援委員会 金子彩子  
オブザーバ講師：千葉委員会 若田充史、千葉委員会 辰野樹市
5. 内 容：

生徒は固定クラスではなく「土曜講座」に申し込んだ有志の16名が参加しました。日本技術士会千葉県支部との共同開催であり、オブザーバとして、西田 宏 技術士が参加しました。

前半、田久保会員が、知的財産権の観点を交えて起業について講義を行いました。それを踏まえて、各生徒は自分の起業プランを考えました。観点は、(1)会社名、(2)何を(提供する製品又はサービス、製品又はサービスのポイント、何が特徴か、何が新しいか)、(3)誰に(提供する製品又はサービスの対象者)、(4)どのように(提供手段：ネット通販、リアル店舗、リアルサービス、ネットサービス。宣伝方法：ネット広告、SNS、ポスティング・折込、口コミ)、(5)収益、ありました。

後半、4人×4班に分かれ、班内で4人の起業プランを持ち寄って1人に絞り込み、1人の起業プランを4人で具体的に発展させました。最後、4班より発表を行いました。

終了後、生徒からは以下の様な感想を得ました。

「違う学年の人とグループワークをして緊張したけど、徐々に思った事も言えるようになってとても良かったです。司会という役割でどうすればいいか分からなかったけど、弁理士の方が色々な視点からアドバイスしてくださったのでいい感じに進めることができました。今までない経験ができたので、参加して良かったなと思いました。また、今回のお話を聞いて、自分の好きなことを仕事にできるのはすごく良いなと思いました。」（高2）

「弁理士という未知の人達に会えて新しく知ることができたことを嬉しく思います。四人班で新しいサービスの提供を考えた時に初めての人の出した案がとても良い案で将来的にビジネスとしてやっていけるのではないかと思いました。1人では難しくても何人かで協力すれば会社の設立も夢ではないのだなと感じました。」（高3）

「ほぼすべてのものに特許があり、起業したいなと軽い気持ちでいたのですが、起業はしっかりビジョンを持ってないと長く続かなかったり、近年は周りとの差別化が大事なんだなと思いました。初めて土曜講座を受けました。思った以上に学べることが多くて楽しかったです。実際に働いている人から教えてもらうのですぐくためになりました。」（高3）



関東会 知財創造教育支援委員会 金子彩子

### 「知的財産特別授業」江戸川区子ども未来館

1. 日 時：令和7年7月13日（日）14：00～16：00
2. 場 所：江戸川区子ども未来館
3. 対 象：小学4, 5, 6年生 11名
4. 講 師：知財創造教育支援委員会 齊藤進  
小屋迫利恵

#### 5. 内 容：

2部形式で、前半は講義を、後半は工作を行いました。

講義の前半では、身近なキャラクターの具体例を提示しながら、著作権、著作物はどのようなものであるかについて、クイズを交えながら解説しました。また、著作権と先に学習済みの産業財産権とを比較しながら、著作権の特徴を解説しました。さらに、キャラクターに関連して、映画の著作物と美術の著作物との違いや著作物の保護期間について解説しました。後半では、身近なキャラクターの活用例を提示し、クイズを交えながら、著作物の利用について解説しました。クイズのたびに、児童から活発な意見が出されました。

工作では、用紙を配布し、配布した用紙にオリジナルのキャラクターを描き、円形に切り取って缶バッジを作成してもらいました。缶バッジの作成前に「他人の絵や写真を勝手に使わない」など著作権法上留意すべき点を説明した上で、缶バッジの作成に着手してもらいました。オリジナルのキャラクターを考えることは難しい児童もいたが、全員1つ以上の缶バッジを作成できました。



関東会 知財創造教育支援委員会 小屋迫利恵

### 「知的財産特別授業」中央区教育委員会教育センター

1. 日 時：令和7年8月1日（金）14：00～16：00
2. 場 所：中央区教育委員会教育センター
3. 対 象：小学5年生 10名
4. 講 師：東京委員会 本谷孝夫

知財創造教育支援委員会 金子彩子

5. 内 容：知財に関する紛争劇「パリのり特許大紛争！発明者たちの熱き戦い」

前半は、著作権、特許、意匠、商標について知的財産の概要をお話しました。次に、弁理士の仕事と「切り餅事件」を題材に特許についてより詳しくお話ししました。

休憩時間を利用して、児童たちは発明協会により併催されていた「ホンモノ・ニセモノ展」を興味深そうに見学していました。

後半は、「お菓子と飲み物を片手で持てる道具」を児童それぞれで考え、発明工作を行いました。限られた材料でそれぞれ工夫のある作品を作ることが出来ました。

最後に、カップヌードルのプラモデルを見せてカップヌードルの発明について、また、お土産の特許製品についてお話しし、最後まで特許について興味を持つてもらいました。



関東会 知財創造教育支援委員会 金子彩子

### 「知的財産特別授業」ひたちなか少年少女発明クラブ

1. 日 時：令和7年8月2日（土）9：30～11：45
2. 場 所：ひたちなか市東石川小学校 1F図工室
3. 対 象：37名

（小3：15名、小4：4名、小5：2名、小6：1名、中1：1名、合計23名  
他に、保護者4名、指導員13名）

4. 講 師：知的創造教育支援委員会 上田精一  
茨城委員会 平川明  
知的創造教育支援委員会 佐藤高信

#### 5. 内 容：

茨城県ひたちなか市にて、ひたちなか少年少女発明クラブの皆さんを対象に、電子紙芝居、クイズ（発明、特許に関する講義）、及び発明工作を行いました。

#### （1）準備作業

講師3名が8：30頃に会場に到着し、指導者の稻田様と、準備作業を行いました。材料、お土産、感想文用紙の配布準備、スクリーンとパソコンの接続確認等を行いました。30分前後で、準備完了しました。

#### （2）授業前半（知財の講義）

まず、電子紙芝居『パン職人レオ君奮闘記（第2章（所要約18分））』を見ていただきました。次いで、電子紙芝居を題材にしたクイズを交えての講義を行いました。講義では、アイディアを守るために特許を取得する必要があることや、特許を取得するためには、発明を文章にて表現する必要があること、また、特許権を広く取得するためには、文章にどういった工夫を施せばよいかなどについて説明しました。

さらに、電子紙芝居『パン職人レオ君奮闘記（第3章）』視聴への要望があったため、これに関連して、第2章での特許取得後、どのような問題が生じる可能性があるかを子供達に質問したところ、直ちに「量産化の問題」との回答があり、参加している子供たちのレベルが高いと感じました。

講義中、スライドが変わる度に、子供達から先回りした内容説明の発言が繰り返され、進行はとても楽で、むしろ、時間に追われて、最後は切り上げたような状況でした。

#### （3）授業後半（工作授業）

題材は、「汚さずに流せるかな」でした。形式は、個々人での制作としました。

はじめに、全体向けに説明を行いました。また、工作授業で使用する材料（ペットボトル、紙コップ、ストロー、テープ）、持参してもらったハサミなどの確認などを行いました。さらに、当日、急遽、水道工事が入り、工作授業中の前半で水道が使えないことを説明しました。

その後、特にヒント等は与えずに、すぐに各自による工作を開始しました。工作中、講師陣と指導員の皆さんとで全体を回りながら、各人の進捗に応じて個別にアドバイスを行いました。

途中（開始から30分程度の時点）から、発明品が完成するごとに、子供達にどんどん

発表していただきました。

他人の発明を見て、これをヒントに改良発明を行うことの大切さも理解してもらえるよう、完成した発明品を具体例にして発表を進めました。

子供達および指導員様からも、来年も是非開催してほしい、との要望を受けました。



関東会 茨城委員会 平川明

### 「知的財産特別授業」江戸川区子ども未来館

1. 日 時：令和7年8月10日（日）13：30～16：00
2. 場 所：江戸川区子ども未来館
3. 対 象：小学4、5年生（レギュラー14名、夏のスポット参加6名）
4. 講 師：知財創造教育支援委員会委員 伊藤夏香  
齊藤進
5. 内 容：

今回は夏休みスペシャルということで、レギュラーの生徒さん16人に加えて、夏のスポット参加の生徒さん8人を加えました、最大24人の生徒さんを相手に授業を行う予定でした。三連休の中日でしかも雨が降っていたので、人が集まるか心配でしたが、レギュラー14名、夏のスポット参加6名の合計20名が集まってくれました。

2部形式で、前半は講義を、後半は工作を行いました。

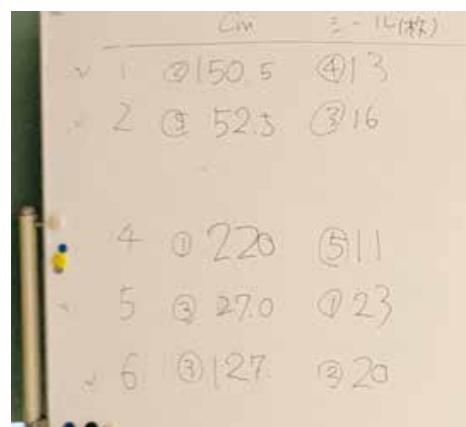
講義前半（約30分）では、お土産に渡す予定の「ヒット商品はこうして生まれた」の中から、身近な知的財産権（発明）の具体例として、雪見だいふく、お爺ちゃんのノート、カップヌードルを提示して、特許、商標、意匠について広範な説明を行いました。またAIが作成した、「ジブリ風」、「藤子・F・不二雄風」といったような「～風」の絵画の著作権についても説明しました。



講義後半の工作では、ペーパータワーを作ってもらいました。具体的には、各チームに、裏紙30枚、画用紙10枚を渡し、基本条件として、（1）自立できること、（2）重し（ジャガリコ）の荷重に耐えられることを課しました。また選択要件として、以下のなかから少なくともどれか1つを満たすこと、（3）高いこと、（4）奇抜であること（デザイン性が高いこと）、（5）SDGs（現状回復し易いこと）を競ってもらいました。裏紙の追加が求められて、結果的に各チームに裏紙を（30+20+20）枚を渡しました。

基本条件を満たしたものについて、（1）自立要件（3点）、（2）荷重要件（2点）の配点で加点しました。また選択要件（最高15点）について、各要件について評価の高かった上位チームから順に5, 4, 3…と加点しました。（4）デザイン性については、各人に各チームのタワーについて投票してもらう形式を取りました。そして、総合点で、順位を競いました。

自立できれば2m20cmとなる高さのタワーを作ってくれたチームもありましたが、残念ながら、自立要件を満たせているとは言い難かったです。参加した5チームのうち、基本条件（1）（2）を満たせたチームは、残念ながら3チームでした。基本条件（1）（2）を満たせたチームが、総合点で上位となり、1, 2位となる結果となりました。当初は1位にのみ景品（ノベルティ）を渡そうとしていたが、1, 2位が僅差だったこともあり、2位のチームにも残りの景品を渡しました。





関東会 知財創造教育支援委員会委員 斎藤進

### 「発明工作授業」 一般社団法人栃木県発明協会

1. 日 時：令和7年8月30日（土）10：00～16：00
2. 場 所：とちぎ産業創造プラザ
3. 対 象：4歳～小学6年生 24名 + 保護者 24 + α名
4. 講 師：知財創造教育支援委員会 岩永勇二  
伴久仁彦  
栃木委員会 横川憲広

#### 5. 内 容：

発明工作（片手で持てるかな）を通じて、発明を体験することを狙いとしました。

発明工作的「片手で持てるかな」では、ドリンクやポップコーンを飲食するためにドリンク容器とポップコーン容器を片手で持てるようにするにはどうすればよいか？の観点から、参加した子供たちが、紙コップや紙皿を用いた様々な作品を作り、完成した作品を発表しました。最初になるべく変わったもの、人とは違うものを作製するように伝え、各自自由に教材を使って、紙コップと紙皿を片手で持てるようにした発明品の工作を行いました。

今回の知財授業は、午前が11:00～12:00、午後が14:00～15:00の2部構成でした。「プラザのつどい」（別添）の一環としての発明工作授業で、午前の部では13人の子供が参加しましたが、他のイベントへの予約により、途中退場する子供が2名いました。

午後の部では、他のイベントの終了後に流れて来て、11人の子供が参加しました。

デザイン性の観点で、シールを工作物に貼り付けました。



関東会 栃木委員会 横川憲広

## 東 海 会

### 東海4県・長野県農業法人協会「農業法人経営情報交流会」

1. 日 時：令和7年7月30日（水）～31日（木）
 

※初日 13:30～20:00のみの参加
2. 場 所：ひだホテルプラザ
3. 対 象：各県農業法人協会会員及び賛助会員・日本農業法人協会・関係機関・企業等  
(約100名)
4. 講 師：日本弁理士会東海会 地域資源IP委員会  
委員長 安部誠  
委員 岡本茂樹、鷺見浩樹
5. 内 容：岐阜、愛知、三重、静岡、長野の各県から農業法人経営者が多数参加し、農業法人経営者としての資質向上と各県法人協会会員相互の情報交換・親睦を図る。
  - ・1日目（7月30日）
    - 岐阜県農業法人協会の活動報告（13:50）
    - 会員の取組報告・クロストーク（14:00）
      - 高山市（株）寺田農園
      - 羽島市 アグリテック羽島（株）
      - 高山市（株）下本農園
    - 実践報告（対談形式）（15:30）
      - 高山市（株）和仁農園
    - 情報提供（16:20）
      - ・東海農政局
      - ・（公社）日本農業法人協会
      - ・（株）紫屋
      - ・農林中央金庫
      - ・日本弁理士会東海会～農業分野における知財活用に関するミニプレゼン～
    - 懇親会（17:50～20:00）
      - ・日本弁理士会東海会～懇親会の会場に専用スペースを設けて知的財産無料相談会を開催～
  - 6. コメント：  
7月30日に岐阜県高山市で開催された「令和7年度東海4県・長野県農業法人経営情報交流会」に、私（安部）を含めて委員会メンバー3名と事務局員1名の計4名で参加しました。  
この交流会は、各県の農業法人協会が主催（今年度当番は岐阜県農業法人協会）し、毎年100名を超える農業法人経営者が参加する交流会です。今回初めて地域資源IP委員会として参加させていただき、研修会（情報提供の部）の1つの公式プログラムとして、「農林水産業者のための知的財産活用について」というタイトルで100名超の参加者の中でミニプレゼンテーションを行いました。さらに研修会後の懇親会の会場では、知財に関する相談コーナーの席を設けさせていただき、数名の参加者と個別相談を実際に行うことができました。また、懇親会の最中は各テーブルを回って大勢の参加者の声を聞くことができました。当日の状況を示す写真を幾つか添付しております。

開催前は農業法人経営者の方々は知財にあまり関心がないのではないか、懇親会に個別相談コーナーを設けても誰も相談しに来ないのではないかと心配していましたが、想像以上に農業法人経営者の皆様は知財戦略、弁理士に対する関心が高く、写真にあるように複数の方が実際に相談コーナーに来られ、知財関連事項を含め農業法人経営の現在の課題や今後の展望等を話されました。農業法人経営者の皆様に対して我々弁理士は必要な存在、頼りにされる存在、であることを確認できた交流会となりました。

この交流会に参加したこと、この種の知財支援活動は、地域に根ざしたものであって個別に対応可能な形態で行う支援活動が大切であるという思いを新たにしました。

農業法人経営者の皆様は、農業経営（事業の拡大や多角化）に対してポジティブマインドをお持ちの方が多く、知財戦略に対する関心も高いと思います。また、農業法人経営者は、個人経営者（いわゆる家族経営の農家）に比べて資金力もあり、農水分野の知財支援の対象者（対象団体）として適すると判断します。

（公社）日本農業法人協会では、賛助会員を募集しています。常務理事の東郷様とお話ししました。弁理士会（本会或いは地域会）が賛助会員として加入すれば、全国版および各県レベルでの農業法人協会が実施するイベントに関する連絡（予告）を受けることができます。この種の知財支援活動を全国に普及できると思いますので、弁理士会として賛助会員に入会していただきたいです。



安部委員長によるプレゼン



交流会の様子



交流会における知的財産無料相談会



東海会 地域資源IP委員会 委員長 安部誠

## 「第1回休日パテントセミナー2025in名古屋」

1. 日 時：令和7年8月30日（土） 14:00～16:10
2. 場 所：名古屋商工会議所 3階第5会議室
3. 対 象：一般市民、中小企業者、知財担当者など（28名）
4. 講 師：日本弁理士会 著作権委員会 委員 岡村祥有
5. 内 容：「ここは守ろう、著作権」

（司会進行：下上晃一郎（知的財産権制度推進委員会 副委員長））

昨年に引き続き、日本弁理士会著作権委員会の岡村祥有委員が著作権に関する講義を行いました。

近年はマスメディアやSNSなどにおいてしばしば著作権が話題になることがあり、一般の方々の間でも著作権制度を身近に感じることが増えてきています。

講義においては、最近の裁判例の紹介や講師の実体験など、多くの事例を交えて明快にご説明いただき、参加者（私含む）の興味を引き飽きさせない工夫がなされていました。

参加者は著作権についての関心が高い方々であり、皆真剣に聞き入っていました。最後に、「他人の著作物を利用する人は、他人の著作権を尊重しましょう！」というまとめを全員で確認し、講義の終わりとともに参加者からの拍手が起きました。

前半と後半の間に設けた休憩時間や、講義後に予定していた10分間では足りないほど活発な質疑応答があり、当分野に関する関心の高さを目の当たりにしました。

講師の岡村祥有委員から、以下のコメントがありました。

（講師：岡村祥有）

著作権、著作物とはという説明から始まり、著作者人格権、権利制限規定、裁判制度の説明、保護期間、AIと著作権、とだいぶ講義内容を盛ってしまいました。広く浅くとはなってましたが、聴講者の方々にはご満足いただける内容になったかと思っております。具体的には、各著作物においてなるべく令和での判決を紹介することで、どのようなものが著作物となり、また、どのようなものが著作物となるのかご理解の一助になったかと思います。また、知財を身近にという休日パテントセミナーのテーマにも合わせて、私自身が他人の著作権を侵害しないように気を付けていることの説明や、季節特有の話題として、夏の甲子園高校野球の吹奏楽部の演奏は著作権とどう関係があるのかについての説明もさせていただきました。

16:00ごろから質疑応答の時間を設けましたが、セミナー中にすべて回答することができず、セミナー後も16:30手前まで聴講者の方々のご質問にできるだけ回答いたしました。積極的にご質問をいただき、聴講者の方々の著作権への興味・関心の度合いの高さを感じました。



セミナーの様子

東海会 知的財産支援委員会 委員 下上晃一郎  
知的財産支援キャラバン隊 弁理士 岡村祥有

**INPIT 長野県知財総合支援窓口**

**「令和7年度長野県よろず支援拠点とINPIT長野県知財総合支援窓口 合同研修会」**

1. 日 時：令和7年9月12日（金）13：00～16：30
2. 場 所：長野県工業技術総合センター
3. 対 象：よろず支援拠点CD19名、長野県信用保証協会3名、商工会6名、商工会議所4名、INPIT関係9名、オブザーバとして関東経済産業局1名及び特許庁1名
4. アドバイザー：日本弁理士会東海会 長野県地区会 地区会長 竹内康司  
地区副会長 岩垂裕司  
運営委員 高山嘉成、國井久美子、森下康司、依田由雄  
会員 中山実、佐藤寿
5. 内 容：「カフェの売上拡大に向けた提案」
  - (1) 仮想事例を題材としたワークショップを実施する。
  - (2) INPIT本部、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社及びINPIT長野県窓口等がファシリテーターを務める。
  - (3) ワークショップの各グループに日本弁理士会東海会長野県地区会の弁理士が参加し、専門家としてアドバイスを行う。

6. コメント：

令和7年度長野県よろず支援拠点とINPIT長野県知財総合支援窓口の合同研修会に専門家として参加しましたので、報告します。標記研修会は、9月12日に長野市で開催されました。

- (1) 挨拶のあと、INPIT長野知財総合支援窓口の久保順一氏より、ミニ講演がありました。また、長野県よろず支援拠点樋口武伸氏より、よろず支援拠点の紹介がありました。
- (2) ワークショップ
  - 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社のコンサルタント上野翼氏により、仮想事例が準備されており、仮想事例について、グループに分かれてディスカッションを行うという形式でした。
  - グループは、全部で8グループ編成でした。1グループあたり、受講生にあたる、よろず支援拠点コーディネータが2名～3名、長野県信用保証協会、商工会議所指導員、関東経済産業局、特許庁審査官補の中から2名～3名、専門家として弁理士が1名、及びファシリテーター役としてINPITの知的財産アドバイザーまたは三菱UFJコンサルタントが1名入りました。
  - ワークショップは、いずれのグループでも熱い議論が行われ、非常に盛り上がりました。よろず支援拠点としての経営への視点、気づき、金融アドバイス、SNSの利用などの提案が出されました。
  - また、よろず支援拠点コーディネータの提案について、知的財産の観点から弁理士がアドバイスを行うことで、今回の仮想事例における各提案に際し、知的財産の視点・違和感をご理解いただけたと感じました。



研修会の様子

以上

東海会 長野県地区会 地区会長 竹内康司

## 「第2回休日パテントセミナー2025in名古屋」

1. 日 時：令和7年9月13日（土） 14：00～16：10
2. 場 所：名古屋商工会議所 3階第5会議室
3. 対 象：一般市民、中小企業者、知財担当者など（35名）
4. 講 師：東海会 知的財産権制度推進委員会 委員 赤座泰輔
5. 内 容：「最近聞くけど、不正競争ってなに？」（司会進行：菅慎太郎）

知的財産権制度推進委員会の赤座泰輔会員に不正競争防止法に関する講義を行っていただきました。

前半60分の講義では、そもそもなぜ不正競争防止法が必要か?に始まり、不正競争の具体的な内容について、類型ごとの解説が行われました。

後半60分の講義では、「白い恋人事件」、「コメダ珈琲店事件」及び「日本ペイント事件」が解説されました。「白い恋人」、「コメダ珈琲店」については、参加者もよく知っているため、より興味をもって聞いているという印象を受けました。

また、「日本ペイント事件」は、どこまでが技術者が所有する「技術」で、どこからが企業が所有する「技術」であるのか?という点について考えさせる内容でした。

最後に、複数の方からの質問に対応しました。どこまでが「不正競争」に該当するか?という観点からの質問が多かったと感じます。

講師の赤座泰輔委員から、以下のコメントをいただきました。

（講師：赤座泰輔）

前半は不正競争防止法の法律について、後半は判例などの事例について説明しました。

（前半）

特許法などの他の知的財産権と不正競争防止法との違いについて、特許法などは特許権などの権利について定めたものに対し、不正競争防止法は、やってはいけないことを定めた行為規制法であることを説明しました。

不正競争防止法の目的として、事業者間の公正な競争の促進と国際約束の的確な実施であることを説明し、パリ条約に不正競争行為の禁止の規定があることを説明しました。

不正競争の10の類型について、目的と例を詳細に説明しました。

（後半）

判例などの事例について、面白い恋人事件、コメダ珈琲店事件及び日本ペイント事件を詳細に説明しました。

日本ペイント事件に絡めて、技術者の在り方について、普段から気を付けたいことを説明しました。

制度をより詳しく知るために、経済産業省のホームページの記載と東海会無料相談について紹介しました。



セミナーの様子

東海会 知的財産権制度推進委員会 委員長 菅慎太郎

## 関 西 会

### 「令和7年度MOBIO知財セミナー(第2回)」

1. 日 時：令和7年8月27日（水）15：30～18：45
2. 場 所：クリエイション・コア東大阪南館2階 産学連携オフィス セミナールーム
3. 対 象：18名
4. 主 催：日本弁理士会関西会、ものづくりビジネスセンター大阪（MOBIO）
5. 講 師：泉谷透
6. 内 容：ケーススタディで学ぶ！中小企業の知財リスク対策と知財活用のヒント

INPITの「知財マネジメント人材育成教材」の中から選択された5つの事例を用いて、教材の解説に加えて講師オリジナルの参考解を交えながら、企業における知財リスク対策の方法及び知財の活用方法について具体的に説明されました。事例には、ノウハウ・営業秘密管理、侵害対応、知財の活用方法など、実際に起こりやすいケースがバランスよく含まれており、対応策について講師の経験談とともに丁寧に解説されました。

質疑応答では1名の参加者からの質問を受け付けて丁寧に回答されていました。また事前質問として知的財産の担保価値の評価方法について質問されていたため、関連サイトをまとめた資料を当日配布し回答されていました。

講義の終了後には交流会が1時間程度開かれ、講師の泉谷会員及び関西会会員4名を含む9名が参加しました。

以 上



関西会 知財普及・支援委員会 鶴川智子

## 「知的財産特別授業」大阪市立矢田小学校

1. 日 時：令和7年8月29日（金）10：45～11：30
2. 場 所：大阪市立矢田小学校
3. 対 象：6年生 1クラス 17名
4. 講 師：川瀬直樹、三方英美
5. 内 容：小学知財授業（寸劇）

大阪市立矢田小学校（近鉄南大阪線矢田駅から徒歩約10分）を訪問し、「君も今日からエジソン」の知財授業を行いました。授業は、司会進行役を三方会員が務め、F博士役を川瀬会員が担当し、怪人X役を担任の先生に演じて頂きました。

授業では、三方会員のテンポの良い進行にあわせて子どもたちは、積極的に手を挙げて発言してくれました。「カタシャンボトル」の紹介時には、どうしたら片手でシャンプーを出せるか子供たちは色々なアイデアを挙げてくれました。肩ブレラの紹介では、手を使わずに傘を固定する方法を幾つかの道具を用いて試行錯誤する中で、考える楽しさを実感してくれたと思います。

寸劇では、子どもたちは、F博士の困った様子と担任の先生のマント姿を見て、楽しく鑑賞してくれました。クイズタイムも活発に答えてくれました。カップラーメンが日本の発明で、安藤百福さんが発明者であることはよく知っていたようですが、シャープペンシルが日本人の発明で家電メーカーの「シャープ」であることを知らなかった子もいて、非常に興味を持ってくれました。最後に大阪・関西万博（2025年）を1970年当時と対比しつつ紹介して授業を終わりました。

授業は、子どもたちの積極的な発言により、楽しくスムーズに進行することができました。授業前は発明という概念や弁理士という職業をあまり知らない子が多かった模様ですが、今回の授業により、発明を守る仕組みや、弁理士について、子どもたちに知ってもらう機会になったと思われます。



興味津々の児童たちに講義を行う講師

関西会 知財授業担当 川瀬直樹

### 「知的財産特別授業」泉南市立東小学校

1. 日 時：令和7年9月2日（火）10：20～11：05
2. 場 所：泉南市立東小学校
3. 対 象：6年生 17名
4. 講 師：富田光治、鈴木武
5. 内 容：小学知財授業（寸劇）

泉南市の山合にある泉南市立東小学校を訪問しました。まず目に入ったのが芝生の校庭、そして校庭の奥にある巨大な滑り台です。周辺には川もあり昔ながらの自然が多く残っている素敵なかいだらの環境の小学校です。久しぶりの知財授業でしたが、事前準備や怪人X役の先生との打合せもスムーズに進み、安心して授業を始めることができました。

授業では、まず、黒板に「発明 特許 弁理士」と書いて、この3つを憶えてほしいというところから始まりました。そして「発明って何か知っていますか？有名な発明家って誰がいるかな？」などの質問をすると、多くの児童たちが手を挙げて元気に答えてくれました。

次にコップと皿を組み合わせた「サラカップル」等を例に、生活の不便を解消するための方法について意見を求める、児童たちは次々と手を挙げていろんなアイデアを答えてくれました。

更に「肩ブレラ」では、児童たちにも傘を取り付けた「肩ブレラ」を実際に肩に付けてもらって傘がしっかりと固定されて両手が使える状態を体験してもらいました。

また「サラカップル」を発明したエフ博士と「サラカップル」の模倣品を安く売る怪人Xが登場する寸劇では、特許権が存在することの理由等について説明しました。児童たちに「本物と偽物のどちらを買いますか？」と尋ねると、「安い方を買う！」という意見が多かったですが、怪人X役をしていただいた先生の悪役ぶりがすばらしく名演技だったからかもしれません。

この劇を通じて、児童たちに知的財産の重要性を印象付けることができたと感じています。

クイズタイムも児童たちは真剣に考え、元気よく回答してくれました。

授業の合間には、大阪・関西万博の開催について触れました。近いうちに学校から大阪・関西万博に行かれる予定とのことで興味を持って聞いてもらえたと思います。

最後に、授業の感想を尋ねたところ、「生活の不便を解消する発明は大事だと思った」などの回答があり、発明や特許そして弁理士という職業についても理解をしてもらえたと思います。授業後の休憩時間も時間の許す限り用意した発明品に触れて来てくれるなど興味を持ってもらえたようで、とても嬉しく思いました。



興味津々の児童たちに講義を行う講師

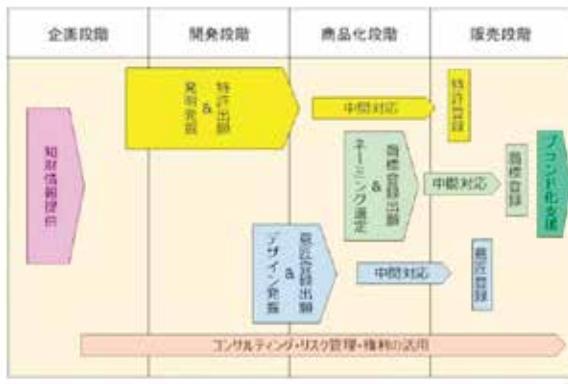
関西会 知財授業担当 富田光治

# 四国会

## 第三者連携セミナー@香川

1. 日 時：令和7年9月12日（金）16：05～16：24
2. 場 所：サンポートホール高松62会議室
3. 対 象：日本弁理士会 リアル参加6名、オンライン参加3名  
日本政策金融公庫 リアル参加5名、オンライン参加4名  
中小企業診断士協会 リアル参加7名、オンライン参加3名
4. 講 師：四国会設立20周年記念事業実行委員会委員 京和尚
5. 内 容：  
 「弁理士の仕事とその流れ」と題して以下の内容をプレゼンしました。  
 ●弁理士の仕事：弁理士のコア業務を紹介するとともに、知財棚卸、権利活用、リスク管理、コンサルティングといった急拡大しつつある弁理士の周辺業務についても解説しました。  
 ●弁理士の仕事のながれ：企業における新商品開発プロセスを説明したうえで、その企画段階、開発段階、商品化段階、販売段階における弁理士の仕事の流れを下のスライドを用いて視覚的に解説しました。  
 ●知的財産活用の効果：「骨付鳥一鶴」におけるブランド戦略の成功例、「下町ロケット」等のドラマにおける特許活用例を紹介しつつ、知的財産活用の効果をPRしました。  
 ●香川での地域団体商標登録：「組織力」+「資金力」+「知財力」が必要な制度であり、第三者連携で取り組むテーマとなりうることを紹介しました。

### 新商品開発プロセスと弁理士の仕事の流れ



四国会設立20周年記念事業実行委員会委員 京和尚

### 三者連携セミナー@香川

1. 日 時：令和7年9月12日（金）16：00～18：00
2. 場 所：サンポートホール高松62会議室
3. 対 象：日本弁理士会四国会、日本政策金融公庫四国内6支店、  
香川県中小企業診断士協会、愛媛県中小企業診断士協会、  
徳島県中小企業診断士協会、高知県中小企業診断協会、28名
4. 講 師：日本弁理士会四国会 京和尚  
日本政策金融公庫 池田昌弘  
香川県中小企業診断士協会 正田位守  
日本弁理士会四国会 会長 山内伸
5. 内 容：  
セミナーの前半では弁理士、公庫、中小企業診断士のそれぞれから講演し、それぞれの仕事の流れを紹介しました。セミナーの後半ではワークショップを行い、仮想事例を通じて三者で連携した企業支援を体験しました。  
三者で連携した企業支援についてヒントを得て、今後の連携の円滑にするものです。



四国会 会長 山内伸

「知的財産セミナー『著作権早わかり～今さら聞けない基礎知識(後編)』」

1. 日 時：令和7年8月20日（水）14：00～16：00
2. 場 所：高知県工業技術センター2階研修室 & ZOOMオンライン
3. 対 象：公的機関、一般企業、学生・63名
4. 講 師：四国会 監事 城田晴栄
5. 内 容：

7月に行った前編に引き続き、後編を行いました。

前編では質疑応答にしっかりと時間を取ましたが、今回は時間の許す限り講義する形式とし、前編で得た著作権に関する基礎知識を応用できるよう、様々な事例や問題点を交えながら著作権について解説しました。

なお、毎回事前の質問を募集し、これをセミナー内で開設する形式をとっています。常に5～10問もの実務上の質問があることを鑑みるに、実務における著作権で困っていたり、どこに相談すればよいかわからなかったりするようです。本セミナーがその一助となることを願う次第です。

四国会 城田晴栄

## 九州会

### 九州経済産業局こどもデー 発明工作教室

1. 日 時：令和7年8月7日(木) 9：50～10：35
2. 場 所：福岡合同庁舎本館6階クリエイティブルーム
3. 対 象：14名
4. 講 師：隅田俊隆 本多伸介
5. 内 容：片手でもてるかな

#### (1) セミナー内容

発明やものづくりも楽しさを学ぶ親子体験型のカリキュラムの中に工作授業が組み込まれた形で実施されました。工作内容は、主催者である九経局からの要望を受けたものです。参加者は、九経局からの情報によると小学1～6年生であり、兄弟姉妹での参加も何組かありました。冒頭10分程度で発明についての簡単な紹介を行い、残りの時間で工作と発表を行いました。

#### (2) コメント

ほとんどの子供が保護者と一緒にになって積極的に楽しく取り組む様子が見受けられました。後日に、九経局の担当者の中村氏から、イベントの中でも工作教室が一番好評だったとの話を伺い、主催者にも非常に満足して頂けたようでした。個人的にも、1時間足らずの時間でうまくまとめられたと感じています。

隅田俊隆

2

## 支援活動一覧表（10月分）

都道府県	開催年月日	イベント・セミナー名	講師 or 相談員氏名	会 場	区分
北海道	25.10.31	高等学校向け人材育成支援事業	大窪智行	東海大学附属札幌高等学校	講演
	25.07.01～ 26.01.31	サイエンスパーク・オンライン	なし (データ提供のみ)	ウェブ開催	その他
青森	25.10.02	第67回青森県発明くふう展(表彰式)	角田世治	ねぶたの家 ワ・ラッセ	その他
	25.10.08	日本弁理士会特許商標無料相談会	富沢 知成	青森商工会議所	相談
岩手	25.10.02	第61回岩手県発明くふう展(審査会)	東田潔	地方独立行政法人 岩手県工業技術センター	その他
	25.10.08	日本弁理士会特許商標無料相談会	船越巧子	盛岡商工会議所	相談
	25.10.25	第61回岩手県発明くふう展(表彰式)	東田潔	地方独立行政法人 岩手県工業技術センター	その他
宮城	25.10.08	日本弁理士会特許商標無料相談会	藤田正広	気仙沼商工会議所	相談
	25.10.24	第38回みやぎ発明くふう展(審査会)	若山剛	HOKUSHU 仙台市科学館	その他
秋田	25.10.21	第74回秋田県発明展(審査会)	齋藤昭彦	道の駅 あきた港ポートタワー・セリオン	その他
	25.10.26	第74回秋田県発明展(表彰式)	齋藤昭彦	道の駅 あきた港ポートタワー・セリオン	その他
山形	25.10.01	第60回山形県発明くふう展(審査会)	黒沼 吉行	寒河江市文化センター内 中央公民館	その他
	25.10.05	第60回山形県発明くふう展(表彰式)	佐藤司	寒河江市市民文化会館	その他
	25.10.18	さがえ少年少女発明クラブでの 知財授業	佐藤司 阿部博孝	旧幸生小学校	講演
福島	25.10.30	第71回福島県発明展(審査会)	水野博文	郡山市労働福祉会館	その他
茨城	25.10.07	茨城大学寄附講座「知的所有権特論」	石塚利博	オンライン	講演
	25.10.14	茨城大学寄附講座「知的所有権特論」	服部耕市	オンライン	講演
	25.10.21	茨城大学寄附講座「知的所有権特論」	谷水浩一	オンライン	講演
	25.10.28	茨城大学寄附講座「知的所有権特論」	丸林啓介	オンライン	講演
千葉	25.10.01	佐倉商工会議所相談員派遣	渡邊芳則	佐倉商工会議所 2階会議室	相談
	25.10.01	令和7年度千葉県児童生徒・教職員 科学作品展審査会	佐藤高弘 島田敬文	千葉県総合教育センター	その他
	25.10.02	千葉工業大学寄附講座	古城真一	千葉工業大学津田沼キャンパス 6号館1階 612講義室	講演
	25.10.09	千葉工業大学寄附講座	古城真一	千葉工業大学津田沼キャンパス 6号館1階 612講義室	講演

2. 支援活動一覧表（10月分）

都道府県	開催年月日	イベント・セミナー名	講師 or 相談員氏名	会場	区分
千葉	25.10.11	千葉市科学フェスタ 2025	横井堅太郎 佐藤高弘 福井敏夫 山川啓 黒田義博 大石敏幸 金子彩子 清水貴光 中村裕行 小野尾勝 日向林里 竹内詩人 田久保泰夫 吉田信彦 田中秀皓 野村悟郎 浅井淳 角田朗 相田悟	Qiball (きぼーる)	講演
	25.10.16	千葉工業大学寄附講座	古城真一	千葉工業大学津田沼キャンパス 6号館1階 612 講義室	講演
	25.10.16	船橋商工会議所相談員派遣	野村悟郎	船橋商工会議所 304号室	相談
	25.10.23	千葉工業大学寄附講座	古城真一	千葉工業大学津田沼キャンパス 6号館1階 612 講義室	講演
	25.10.28	2025年度弁理士による特許無料相談会 (東葛テクノプラザ)	堀宏光	東葛テクノプラザ相談室 1階	相談
	25.10.30	千葉工業大学寄附講座	高橋洋平	千葉工業大学津田沼キャンパス 6号館1階 612 講義室	講演
東京	25.10.04	第6回暮らしと事業の無料相談会 in 杉並	鈴木康介	杉並区立産業商工会館 展示場	相談
	25.10.07	東京農工大学 農学部 『知的財産権・特許法』	鈴木康介 鷺尾透 中重善文	東京農工大学 府中キャンパス 第一講義棟 25番教室	講演
	25.10.07	知的財産特別授業 (東京都立第四商業高等学校)	百瀬尚幸 上田精一 岩崎孝治 山下滋之 坂田樹	東京都立第四商業高等学校	講演
	25.10.09	2025年度知財無料相談会 (町田)	後藤仁志	町田新産業創造センター又は オンライン	相談
	25.10.09	2025年度東京商工会議所専門相談員	森山朗	東京商工会議所 中小企業相談センター	相談
	25.10.10	品川区特許相談	伊藤夏香	品川区立中小企業センター	相談
	25.10.14	東京農工大学 農学部 『知的財産権・特許法』	鈴木康介 鷺尾透 中重善文	東京農工大学 府中キャンパス 第一講義棟 25番教室	講演
	25.10.21	2025年度 多摩地域無料知的財産相談会	保坂俊	たましん事業支援センター (Winセンター) 又はオンライン	相談
	25.10.21	東京農工大学 農学部 『知的財産権・特許法』	鈴木康介 鷺尾透 中重善文	東京農工大学 府中キャンパス 第一講義棟 25番教室	講演
	25.10.21	令和7年度文京区イノベーション創出 支援事業における審査会	川崎仁	文京シビックセンター 地下2階研修室	その他
	25.10.21	2025年度東京商工会議所 文京支部専門相談員	太田洋子	東京商工会議所文京支部	相談
	25.10.22	知財授業 (東京都立山崎高校)	本谷孝夫 高井智之 茂木健男	東京都立山崎高校	講演
	25.10.24	品川区特許相談	伊藤夏香	品川区立中小企業センター	相談
	25.10.24	2025年度下期 BusiNest無料知的財産相談会	下村和夫	BusiNest 内会議室 又はオンライン	相談
	25.10.25	第11回 府中市事業と暮らしの無料相談会	徳本浩一 時田稔 森山朗	ルミエール府中市民会館 コンベンションホール飛鳥	相談

都道府県	開催年月日	イベント・セミナー名	講師 or 相談員氏名	会場	区分
東京	25.10.28	東京農工大学 農学部 『知的財産権・特許法』	鈴木康介 鷺尾透 中重善文	東京農工大学 府中キャンパス 第一講義棟 25 番教室	講演
	25.10.31	スタートアップ知財セミナー in 東京	廣田翔平 鬼鞍信太郎 米谷仁矩	ビジョンセンター東京虎ノ門	講演
神奈川	25.10.01	横浜市立大学寄附講座 「知的財産マネジメント」	船津暢宏	横浜市立大学 金沢八景キャンパス	講演
	25.10.08	横浜市立大学寄附講座 「知的財産マネジメント」	西山恵三	横浜市立大学 金沢八景キャンパス	講演
	25.10.10	神奈川県立川崎図書館 令和7年度知的財産相談事業	三宅康雅	神奈川県立川崎図書館 知財 スポット	相談
	25.10.15	横浜市立大学寄附講座 「知的財産マネジメント」	柴田克亮	横浜市立大学 金沢八景キャンパス	講演
	25.10.17	令和7年度図書館で学ぶ知的財産講座	保科敏夫	神奈川県立川崎図書館 カンファレンスルーム	講演
	25.10.22	横浜市立大学寄附講座 「知的財産マネジメント」	高原千鶴子	横浜市立大学 金沢八景キャンパス	講演
	25.10.24	神奈川県立川崎図書館 令和7年度知的財産相談事業	金子正彦	神奈川県立川崎図書館 知財スポット	相談
	25.10.29	横浜市立大学寄附講座 「知的財産マネジメント」	高原千鶴子	横浜市立大学 金沢八景キャンパス	講演
山梨	25.10.03	山梨県民信用組合における 知的財産に関するワークショップ	亀山夏樹	山梨県民信用組合竜南支店 2階会議室	講演
	25.10.14	令和7年度弁理士による 知的財産無料相談会（富士吉田）	横川憲広	富士吉田商工会議所 2階会議室	相談
新潟	25.10.03	佐渡知的財産セミナー	吉井雅栄 株式会社ネルニード 代表取締役 遠藤智弥氏	きらりうむ佐渡 1階講堂	講演
	25.10.08	第89回新潟県発明工夫展・ 第74回新潟県模型展 審査会	吉井雅栄	新潟県立自然科学館	その他
	25.10.18	第89回新潟県発明工夫展・ 第74回新潟県模型展 表彰式	吉井雅栄	新潟県立自然科学館	その他
富山	25.10.17	第63回富山県発明とくふう展 審査会	細川健人	富山市民プラザ 2階アートギャラリー	その他
石川	25.10.22	第61回石川県発明くふう展（第41回 石川県科学の夢絵画展）審査会	横井敏弘	石川県地場産業振興センター	その他
福井	25.10.16	第37回福井県発明くふう展・第34回 福井県未来の科学の夢絵画展 表彰式	岩堀圭吾	福井県立図書館 多目的ホール	その他
	25.10.25	合同無料相談会	岩堀圭吾 中出朝夫	福井商工会議所 地下1階 国際ホール	相談
長野	25.10.03	週末パテントセミナー in 長野	外部講師	長野市生涯学習センター	講演
静岡	25.10.03	週末パテントセミナー in 静岡	居藤湖都 鈴木和政	静岡労政会館 展示室+第3会議室	講演
	25.10.10	週末パテントセミナー in 静岡	東山裕樹 八木秀幸	静岡労政会館 展示室+第3 会議室	講演
	25.10.10	日本弁理士会と 独立行政法人国立高等専門学校機構との 「知的財産教育の充実及び知的財産活用 のための協力に関する協定」に基づく 沼津工業高等専門学校での知財授業	藤田早百合 阿出川豊 山本竜也 高田珠美 寺本諭史 中島貴志	沼津工業高等専門学校	知的財 産特別 授業
	25.10.17	週末パテントセミナー in 浜松	東山裕樹 八木秀幸	アクシティ浜松 コングレンスセンター	講演
	25.10.23	静岡県立富士宮北高等学校における 知財授業「知財の基本知識とノースン の活用について」	吉田信彦	静岡県立富士宮北高等学校	知的財 産特別 授業
	25.10.24	週末パテントセミナー in 静岡	長谷部善太郎 坂野史子	静岡労政会館 展示室+第3会議室	講演
	25.10.31	週末パテントセミナー in 浜松	長谷部善太郎 坂野史子	アクシティ浜松 コングレンスセンター	講演
愛知	25.10.04	知財フェス2025	知的財産権制度 推進委員 フレッシュ委員	中部電力MIRAIタワー	イベント

2. 支援活動一覧表（10月分）

都道府県	開催年月日	イベント・セミナー名	講師 or 相談員氏名	会場	区分
愛知	25.10.24	愛知県図書館主催 「創業支援知財活用セミナー」	近藤敏	愛知県図書館	講演
三重	25.10.15	中小企業のための知財経営サロン (トーキイベント) in 桑名	和気光 高垣佳希 大垣成 森岡智昭 山崎桂司 高尾裕三 近藤敏 森下優彰	桑名メディアライブ	座談会
滋賀	25.10.03	知的財産特別授業	寺薗佳江 岡本智之	滋賀県立瀬田工業高等学校	講演
	25.10.18	第45回滋賀県児童生徒発明くふう展・ 第31回滋賀県未来の科学の夢絵画展 表彰式	三雲悟志	アル・プラザ瀬田	その他
京都	25.10.21	知財基礎講座 2025 「商標入門」	上村喜永	オンライン	講演
	25.10.25	第49回 京都府内小・中・高校 創造性コンクール 表彰式	大西雅直	京都府立府民アルティホール	その他
大阪	25.10.08	知的財産特別授業	滝川弘子 大釜典子	高槻市立樋田小学校	講演
大阪	25.10.08	知的財産特別授業	大西正夫 寺薗佳江 田中信治	大阪教育大学附属平野中学校	講演
	25.10.23	知的財産特別授業	古澤寛 齊藤智和	泉大津市立旭小学校	講演
	25.10.23	第54回大阪府生徒・児童教職員 発明くふう展 審査会	松田美幸子	ATC エイジレスセンター	その他
	25.10.30	知的財産特別授業	大西正夫 川瀬直樹	大阪市立生江小学校	講演
	25.10.30	日本弁理士会関西会×INPIT-KANSAI 共催 知的財産セミナー 「営業秘密保護の現状－裁判所の判断からみた技術的営業秘密の保護・管理－」	盛田昌宏 INPIT-KANSAI 知財戦略エキスパート 深町裕一 氏	オンライン	講演
兵庫	25.10.21	令和7年度兵庫県 学生児童発明くふう展 審査会	小林恵	バンドー神戸青少年科学館	その他
奈良	25.10.11	知的財産講座・無料相談会 「特許・実用新案入門+先行技術調査入門」	中西康文	奈良県立図書情報館	講演
	25.10.17	第82回奈良県児童・生徒発明 くふう展 審査会	門田康	イオンモール大和郡山	その他
和歌山	25.10.21	知的財産特別授業	黒田智子 今井佳代	紀の川市立打田中学校 仙渓分校	講演
	25.10.21	第57回私たちのくふう展 審査会	久保田静男	フォルテワジマ	その他
	25.10.23	第40回和歌山市民 発明くふうコンクール 審査会	向林伸啓	和歌山城ホール	その他
	25.10.25	第57回私たちのくふう展 表彰式	久保田静男	フォルテワジマ	その他
	25.10.26	第40回和歌山市民 発明くふうコンクール 表彰式	向林伸啓	和歌山城ホール	その他
島根	25.10.07	知的財産授業	中井正樹	石見産業支援センター会議室	その他
	25.10.14	第28回島根県児童発明くふう展	河野生吾	テクノアーク島根中会議室	その他
山口	25.10.24	市民活動サポート講座	佐藤泰彦	岩国市民文化会館研修室	講演
徳島	25.09.22	「知的財産」出前授業	岸本智久	徳島県阿南市立宝田小学校	講演
香川	25.09.09	知財マネジメントセミナー	京和尚	高松商工会議所	講演
	25.09.12	三者連携セミナー@香川	京和尚 山内伸	サンポートホール高松 62会議室	講演
高知	25.09.11	知的財産セミナー 「デジタル×知財」	山内伸	高知県工業技術センター	講演
福岡	25.10.09	令和7年度福岡県知的財産 実務者育成セミナー 第6回	隅田俊隆	オンライン	講演
	25.10.17	第68回福岡県児童生徒発明くふう展 審査会	隅田俊隆	福岡県中小企業振興センター 会議室	その他

## 2. 支援活動一覧表（10月分）

都道府県	開催年月日	イベント・セミナー名	講師 or 相談員氏名	会 場	区分
福岡	25.10.23	令和7年度福岡県知的財産実務者育成セミナー 第7回	本多伸介	オンライン	講演
熊本	25.10.28	第60回熊本県発明工夫展 審査会	高宮章	熊本県産業技術センター 大会議室	その他
大分	25.10.20	第84回大分県発明くふう展 審査会	松本秀治	大分県立美術館(OPAM) 1F アトリウム	その他
	25.10.26	第84回大分県発明くふう展 表彰式	松本秀治	大分県立美術館(OPAM) 1F アトリウム	その他
宮崎	25.10.16	第84回宮崎県学校発明くふう展 審査会	隅田俊隆	宮崎科学技術館	その他
鹿児島	25.10.29	きりしま創業スクール 「知的財産セミナー」	森田海幹	霧島商工会議所	講演
沖縄	25.10.03	第54回沖縄県発明くふう展 審査会	松本浩一郎	沖縄産業支援センター	その他
沖縄	25.10.26	第54回沖縄県発明くふう展 表彰式	松本浩一郎	沖縄県立武道館	その他

模倣や情報流出など、さまざまなテーマで知的財産を学ぶ

# 知財セミナー

～攻めと守りの武器になる！  
意匠権の活かし方～

2025年11月28日(金) 15:30～18:30



「意匠権を実際にどう活用すればいいのか分からず」を解決！  
活用実例を交えてわかりやすく解説します。

## 開催場所

<第1部：セミナー> MOBIO産学連携オフィス セミナールーム（クリエイション・コア東大阪 南館2F）  
<第2部：交流会> MOBIOコミュニケーションスペース（クリエイション・コア東大阪 南館2F）

## 定員

20名

※満席になり次第、締め切ります。

## 登壇者



石川皓平（いしかわこうへい）氏

弁理士法人藤本パートナーズ

## 申込締切日

2025年11月27日(木)

## プログラム

<第1部>セミナー（15:30～17:30）<第2部>交流会（17:30～18:30）

## 参加費用について

<第1部：セミナー> 無料 <第2部：交流会> 500円／名（消費税込み）

※交流会への参加は任意です。※当日はお釣りの必要がないようご準備ください。

## お申込方法

右記QRコードもしくはMOBIOホームページからお申込ください。



【主催】MOBIO（ものづくりビジネスセンター大阪）【共催】日本弁理士会関西会



【お問合せ先】公益財団法人大阪産業局 MOBIO（ものづくりビジネスセンター大阪）

〒577-0011 大阪府東大阪市荒本北1-4-17 クリエイション・コア東大阪北館1F

【担当】小倉・二宮 [TEL] 06-6748-1011 [E-mail] mobio\_chizai@obda.or.jp

【受付時間】月～金 9:00～17:00（祝日・年末年始除く）



※交流会は、申込状況によって開催しない場合があります。その場合は、前日までに申込者にお知らせいたします。

※セミナー・交流会にご参加の際は、公共交通機関をご利用ください。

# 知財経営支援ネットワーク事業

## 日本弁理士会関西会

# パテントセミナー

# 2025

日本弁理士会関西会は、知的創造活動の普及と促進の一環として、一般の方々に広く知的財産権を理解していただけるよう弁理士等の専門家がわかりやすく説明する、知的財産権に関するセミナーを開催します。

特許庁、INPI、日本商工会議所、日本弁理士会は「知財経営支援ネットワーク構築への共同宣言」を行いました（令和5年3月24日）。

令和6年12月には、新たに中小企業庁が加わりました。

どなたでも  
参加可能です

参加費  
無料



申込みページ

はっぴょんの  
日本弁理士会  
公式マスコットキャラクター

主 催：日本弁理士会関西会

後 援：近畿経済産業局

(独)工業所有権情報・研修館 近畿統括本部

(独)中小企業基盤整備機構 近畿本部

(公財)大阪産業局

### オンラインセミナー

※オンラインセミナーは入門編として開催します。

定員  
500名

Zoom  
ウェビナー

回数	テーマ	講師	開催日時
第1回	初めての特許・実用新案	弁理士 谷 和絵	11/1(土) 10:00-11:40
第2回	意匠入門 ～意匠権の戦略的活用方法～	弁理士 松井 宏記	11/1(土) 14:00-15:40
第3回	ビジネスに活かす商標入門 ～実例で学ぶブランド戦略～	弁理士 石川 克司	11/8(土) 10:00-11:40
第4回	クリエイターのための著作権入門 ～創作活動を楽しく行うための チェックポイント～	弁理士 山本 雅之	11/8(土) 14:00-15:40

### 大阪パテントセミナー

会場：日本弁理士会関西会

定員  
140名

MAP 1

第5回	事例で身につけよう！ 契約書チェックの基本と要点	弁護士・弁理士 三品 明生	11/15(土) 10:00-11:40
第6回	よくわかる知財訴訟	弁護士・弁理士 井上 周一	11/15(土) 14:00-15:40

### 兵庫パテントセミナー

会場：スペースアルファ三宮

定員  
70名

MAP 2

第7回	著作権、プロとしてこのあたりまで おさえておられます？確認しましょう！ ～契約実務から生成AIまで～	弁護士・弁理士 甲斐 一真	11/22(土) 10:00-11:40
第8回	その行為、実は違法かも？! ～不正競争防止法入門～	弁護士・弁理士 矢倉 雄太	11/22(土) 14:00-15:40

### 滋賀パテントセミナー

会場：草津商工会議所

定員  
60名

MAP 3

第9回	アパレル事業とFashion Law	弁理士 小畠 裕士	11/29(土) 10:00-11:40
第10回	研究開発現場からみた知財業務 の現実と理想に向けた取り組み	弁理士 富永 剛史	11/29(土) 14:00-15:40

# パテントセミナー 2025

## オンライン (Zoom ウェビナー) 定員：500 名

※オンラインセミナーは入門編として開催します。

回 数	テ　ー　マ	講　師	開 催 日 時
第 1 回	初めての特許・実用新案	弁理士 谷 和紘	11/1 (土) 10:00～11:40
特許制度について勉強したいと思うけど、堅苦しい本を読むのはしんどいなあっていう方多いと思います。 そこで、1時間半程度のセミナーで特許制度の概要をなじみのある実例を上げながらコンパクトにまとめてお話しします。			
第 2 回	意匠入門 ～意匠権の戦略的活用方法～	弁理士 松井 宏記	11/1 (土) 14:00～15:40
意匠の基礎知識をお話するとともに、関連意匠や部分意匠を用いた戦略的活用方法、類似範囲の明確化および拡張について説明します。また、技術的形態の保護において特許を補完する意匠権の活用、ブランド形態の意匠による保護についても実例を交えて解説します。			
第 3 回	ビジネスに活かす商標入門 ～実例で学ぶブランド戦略～	弁理士 石川 克司	11/8 (土) 10:00～11:40
ブランドの保護やトラブル回避に欠かせない商標。経験豊富な商標専門家が、ビジネスの現場で実際にあった商標出願の事例などを交えてわかりやすく解説します。			
第 4 回	クリエイターのための著作権入門 ～創作活動を楽しく行うためのチェックポイント～	弁理士 山本 雅之	11/8 (土) 14:00～15:40
漫画家さん、イラストレーターさん、画家さん、写真家さん、作家さんなど、創作活動を行っている方に知ってもらいたい著作権の超基本的な内容とか、契約の留意点についてお伝えします。			

## 大阪パテントセミナー（日本弁理士会関西会） 定員：140 名

回 数	テ　ー　マ	講　師	開 催 日 時
第 5 回	事例で身につけよう！ 契約書チェックの基本と要点	弁護士・弁理士 三品 明生	11/15 (土) 10:00～11:40
企業間の共同開発や技術提携が活発化する中で、秘密保持契約や共同開発契約を締結する機会が増えています。本セミナーでは、具体的な事例を使って、契約の考え方、交渉の仕方をわかりやすく解説します。			
第 6 回	よくわかる知財訴訟	弁護士・弁理士 井上 周一	11/15 (土) 14:00～15:40
中小企業やベンチャー企業では知的財産の侵害訴訟を経験したことがある方は少ないかと思います。 セミナーでは簡単な事例を紹介しながら、手続の概要や対応のポイントをわかりやすく解説します。			

## 長庫パテントセミナー（スペースアルファ三宮） 定員：70名

回 数	テ マ	講 師	開 催 日 時
第7回	著作権、プロとしてこのあたりまでおさえています？確認しましょう！～契約実務から生成AIまで～	弁護士・弁理士 甲斐 一真	11/22 (土) 10:00～11:40
このセミナーでは、著作権に関する契約実務と昨今話題の生成AIに関する論点をベースに、著作権法分野において、著作権法に携わる実務家として「今」おさえておくべき実務上のポイントをお話しします。			
第8回	その行為、実は違法かも？！～不正競争防止法入門～	弁護士・弁理士 矢倉 雄太	11/22 (土) 14:00～15:40
不正競争防止法に関し、実際に起こりうる違反事例や見落としがちなリスクを紹介します（本セミナーの対象は営業秘密を含みこれに限りません。）。事業活動に身近に潜む「落とし穴」を知り、法令違反の未然防止に役立てましょう。			

## 滋賀パテントセミナー（草津商工会議所） 定員：60名

回 数	テ マ	講 師	開 催 日 時
第9回	アパレル事業とFashion Law	弁理士 小畠 裕士	11/29 (土) 10:00～11:40
デザイン盗用やブランド模倣、著作権契約の注意点など、具体的な事例を交えて法律の基礎を丁寧に解説します。ファッション業界はもちろん、創作や情報発信に関心のあるすべての方に役立つ内容です。			
第10回	研究開発現場からみた知財業務の現実と理想に向けた取り組み	弁理士 富永 剛史	11/29 (土) 14:00～15:40
実際の研究開発現場では、「忙しい」、「時間が無い」といった理由が正当化され、知財が後回しになることがあります。研究開発と知財に有機的な結びつきをもたせ、両輪で進めていくことを目標に、試行錯誤した経験と学びを紹介します。			

### 申込方法

対 象：どなたでもご参加可能です



日本弁理士会関西会ホームページ  
(<https://www.kjpaa.jp/>) より  
講座ごとに事前申込制。（先着順）



日本弁理士会関西会  
ホームページ





第1回  
久留 亜沙美 弁理士



第2回  
菅 美奈子 弁理士



第3回  
後 利彦 弁理士



第4回  
上村 喜永 弁理士



第5回  
牧野 仁美 弁理士



# 知財基礎講座

受講費  
無料

「知的財産」は特別な企業だけの話だと思っていませんか？  
「ウチの会社に知財は関係あるだろうか？」そう感じた方のための講座です！

こんなことを  
考えたことはありませんか？

- ・知財って重要そうだけど、今は忙しいし何から手を付けていいのかわからない
- ・商品を真似されないようにするには？
- ・販売中の自社商品が、知財権侵害で訴えられることがあるって本当？
- ・今後は販路を広げたいけど、気を付けておくべき点が知りたい！

知財が必要かどうか  
その答えがわかります

## ここがポイント！

- ・知財エキスパートである5人の弁理士が講師を担当
- ・コンパクトな1時間のオンライン講習
- ・受講料はすべて無料
- ・難しい専門用語は使いません。身近な例を挙げて解説するので、初心者の方が安心して受講することができます

大好評につき今年も開催  
2回目の受講も大歓迎です！

### 対象者

京都府内在住

または勤務の方

※定員に満たない場合は、他府県の方もご受講いただけます

 本講座は、超初心者向け  
知的財産講座です

中小企業の経営者や知財担当者、個人事業主、大手企業の若手技術者など幅広い層へ  
おすすめいたします

※時間はいずれも 15：30～16：30

令和7年

7月 29日 第1回 知財入門

あなたの会社の強みを見える化してみませんか？

8月 26日 第2回 特許・実用新案入門

特許権とは？特許の基礎

9月 30日 第3回 意匠入門

意匠の戦略的活用による知財経営の実践！

10月 21日 第4回 商標入門

商標って何？

11月 11日 第5回 著作権入門

ビジネスを守る！知っておきたい著作権の話

全5回

※すべて火曜日

共催

日本弁理士会関西会京都地区会、一般社団法人京都発明協会、  
京都商工会議所、INPI京都府知財総合支援窓口

後援

経済産業省  
近畿経済産業局

【お問い合わせ先】一般社団法人 京都発明協会

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134

京都リサーチパーク内 京都府産業支援センター 2階 TEL:075-315-8886

京都発明協会で検索

京都発明協会



## 第1回 知財入門

弁理士

**久留 亜沙美**

久留特許事務所



あなたの会社の強みを  
見える化してみませんか？

私はこれまで、コンサルティングファームにて、中小企業の皆様を中心として、知財に関するお困りごとのサポートをさせていただいておりました。

今回の「知財入門講座」では、身の回りに潜む危険や、ビジネスと知財のつながりなどをお話しできればと思っております。改めて「自社の強みとは？」ということを、考え直すきっかけになれば幸いです。

## 第2回 特許入門

弁理士

**菅 美奈子**

弁理士法人  
レクシード・テック



### 特許権とは？特許の基礎

私は、食品メーカーで、研究職に長年従事し、その後弁理士として、様々な事業において、特許を中心に業務させていただいております。

今回の講座では、特許権とは？どういう場面で必要か？等について、できるだけ難しくならないようお話いたします。特許に少しでも興味を持っていただければ、幸いです。

## 第3回 意匠入門

弁理士

**後 利彦**

京都先端科学大学



意匠の戦略的活用による  
知財経営の実践！

「意匠」は経営戦略の武器になる！

競争優位性を確保したい中小企業向けに、企業内で実務経験豊富な弁理士が、意匠権の基本から事業への活用法、収益やブランド価値向上への展開までを、実例を交えて日本一わかりやすく解説します。「これも意匠で保護できるのか」と驚く発見と、明日から使える実践知識を身につけ、知財経営を始めましょう。

## 第4回 商標入門

弁理士

**上村 喜永** 京都北山特許法律事務所



### 商標って何？

私は、日々中小企業様の商標登録に携わらせていただいているのですが、初めて興味を持たれた方が考えられる商標と私たち弁理士が取り扱う商標との間に隔たりを感じることがよくあります。本「商標入門講座」では、その隔たりが無くなるように、実例を示しながら商標を分かり易く説明させていただきます。

## 第5回 著作権入門

弁理士

**牧野 仁美**

KSIパートナーズ法律特許事務所  
(舞鶴特許事務所)



### ビジネスを守る！知っておきたい著作権の話

食品メーカー、高等教育機関、ママと地域の企業様とをつなぐアウトソーシング事業等、様々な業界でのビジネス経験を持ち、京都府北部を活動拠点とする弁理士です。

本講座では、SNSや生成AI等最近話題のトピックスも交えながら、「知らなかった！」では済まされない、あなたのビジネスを守るために著作権について解説します。

## 形式

オンラインセミナー（Zoom利用予定）



## 定員

※京都府内に在住または勤務されている方が対象  
他府県の方は、定員に満たない場合にご受講いただけます

**50名**（先着順・申込締切：各開催日の5日前）

## 受講料

**無料**（ご希望回のみ受講することも可能）

## ご注意点

- 先着順受付です。申込締切日前であっても定員になり次第、申込を締め切ります。
- 他府県の方のお申込で、定員オーバーのためにご受講いただけない場合は、開催1週間前までにメールにてご連絡いたします。
- 開催日の数日前に、Zoom招待URLと講座資料データをメールでお送りします。
- ご不明な点は京都発明協会（075-315-8686）までお問い合わせください。

## 知財経営支援ネットワーク事業

令和5年3月に特許庁、INPIT、日本商工会議所、日本弁理士会の4者が「知財経営支援ネットワーク」構築を宣言し、令和6年12月には中小企業庁も加わりました。本講座は、関西地域での「知財経営支援ネットワーク事業」の一環として開催します。

## お申込方法 <Web申込フォームからお申し込みください>



◀ 申込フォーム

講座の詳細は、  
京都発明協会のHPで  
ご確認いただけます。  
(お申込も可能)

京都発明協会



京都発明協会HP内  
知財基礎講座ページ



## 常設知的財産相談室(無料)

※すべて予約制です。

東海会

TEL 052-211-3110

URL : <https://www.jpaa-tokai.jp/>

相談時間：月～金曜日／13:00～16:00

北海道会

TEL 011-736-9331

URL : <https://jpaa-hokkaido.jp/>

相談時間：

毎週火曜日・金曜日／14:00～16:00

関西会

TEL 06-6453-8200

URL : <https://www.kjpaa.jp/>

相談時間：月～金曜日／10:00～12:00、  
14:00～16:00

東北会

TEL 022-215-5477

URL : <https://www.jpaa-tohoku.jp/>

相談時間：毎週火曜日／13:00～16:00

中国会

TEL 082-224-3944

URL : <https://www.jpaa-chugoku.jp/>

相談時間：毎週水曜日／13:00～15:00

北陸会

TEL 076-266-0617

URL : <https://www.jpaa-hokuriku.jp/>

相談時間：

※相談日はホームページをご覧ください。

四国会

TEL 087-822-9310

URL : <https://jpaa-shikoku.jp/>

相談時間：

※相談日はホームページをご覧ください。

関東会

TEL 03-3519-2707

URL : <https://www.jpaa-kanto.jp/>

相談時間：月～金曜日／10:00～12:00、  
14:00～16:00

九州会

TEL 092-415-1139

URL : <https://www.jpaa-kyusyu.jp/>

相談時間：毎週木曜日／10:00～12:00、  
13:00～15:00

中小企業の知財を活かして成長を支援します！

### 【弁理士知財キャラバン】のご紹介

知財を経営に活かすコンサルティングスキルをもった弁理士が  
最大3回訪問して、共に課題を解決し業績アップを目指します。

#### ●Point！

- ・費用は無料(日本弁理士会が負担します)。
- ・これまで150社以上の中小企業に対して支援を実施しています。



詳細はコチラ▶



問い合わせ先：日本弁理士会 弁理士知財キャラバン 担当  
E-mail:caravan@jpaa.or.jp

<https://www.jpaa.or.jp/activity/caravan>

お問い合わせやご送付先に変更がございました場合には 日本弁理士会 経営・支援室まで

電話：03-3519-2709 (直) FAX：03-3519-2706

MAIL : shien@jpaa.or.jp

URL : [https://www.jpaa.or.jp/support\\_activity/](https://www.jpaa.or.jp/support_activity/)